

Centris

— セントリス



CENTRIS

セントリス



アッ

何か見える？

さっきから
ず——つと外ばっか
眺めてるね…

こんな消滅寸前の
汚い世界

見るもんなんて
何もないのに

……





chapter 1



う...う...う

グッ...

...く...う

ハハッ!!

ムダだよ
ムダムダっ!!

それはお母さまが
私にくれた
面白いオモチャ

弱っちいヒカル
なんか
壊せやしないって

グイッ
グイッ



まあーせいぜい
もがいてなよ

…どうせ今に



なくなるん
だから…

それどうじゃ

なっ!!!

うわあっ☆
これがヒカルの
いやらしい
部分かあ

よーく
見せて…

なっ……

な…んで
そ、そんなとこ

ちよつ…
な、なにを

ノウアッ

フフ…

トッ…

んっ
!!!?

ん…う……

んっ…んう

んっ!

んっ……



でもその程度で
恥ずかしがる
んだったら

んあ…

ふは

…ヒカル
…可愛いよ
パンツ見られた
ぐらいで顔
真っ赤にしちゃって

こういう時
ヒカルはどういう反応
するのかなあ



!!!?



うあつっ!!

ああっ…!!!

んあ
んあ



もしかしてパンツ見られてグチユツときちやったの？

っ…



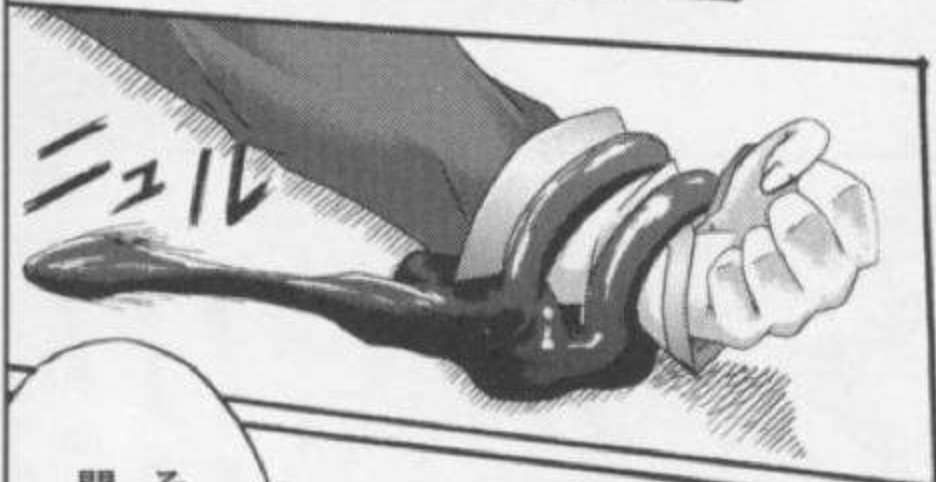
やだなあ…

ヒカルってばアソコ濡らしてる…



あれ…！
ちよつと何コレ

ねば〜



ニユル



ニユル

それなら聞かせてよ



ち、ちがうっ！
わた…しそんなツ…

違う？
そお…
違うんだあ

ヒハツ



あつ…

ニユル

ガッ

何でヒカルのアソコこーんなびちよびちよになってるのかを

ニユル
ニユル

ほらっ
説明してみて

このクチュクチュ
って音は何？

うあつああ…

聞こえてる
よねえ？
……これ

うっ
…んう！

ヒカルのアソコ
もうべちよべちよだよ

んっ…くう

まったく…

メスの匂いも
こーんな充滿
させちゃって…

ツーンとした
いやらしい匂いが
ヒカルの股間から
プンプンしてるッ

ぬちゅわわ

つあつ…う

あつああ…

フフ…
どうやらお母さまの
見込み通り

はあ…
はあ…

ヒカルは
とんでもない

変態女
みたいだね

…あつっ！

あはっ
すごーいすごーい！
今までで一番
感じたでしょっ

つくっあ！

ダメッ！

無理やり触られてる
っていうのにこんな
悦んじゃって

んはっ！

指が…
…中につ！

これじゃ動物と
おんなじ
…メス豚だね

ないって
言えるのお？

わかんない…

でも…わたし…
変態なんかじゃ…

こんなに
感じといて

わたし…喜んで
なんか…

ち…違うんだ
ホントに…

ウキウキ
ウキウキ

ズリ…

ズリ…



.....それじゃッ



まったく
自覚して
ないんだ...



.....
そっか...



なっ!

!!?

気持ち良いコト身体に
たっぷり叩き込んで

ヒカルの変態っ気を
私が目覚め
させてあげるっ

だ、だめっ!
見ちゃだめだっ!!!



ココこんなに
勃たせてる
じゃない

嫌がるフリ
してもムダ!



ダメえーっ

ダメツ!

んあつああ!

あああつ



待ってね…
今とっておきの
オモチャ出して
あげるから

ああつ!

んっう

メス豚のヒカルに
と——つても
お似合いなヤツ
持ってきてるんだっ



こんだけ
感じといて

なーにが「変態
なんかじゃない」
…だよ

あつ!



ヒカルの隠れた
本性を呼び
起こしてあげる



これで一気に…



さあ
出番だよ…

フフ…

……なっ…

なに…をっ…



お母さまから
言われた通り

ほらっ

なッ!

グイッ

思う存分
ヒカルの身体ん中で
暴れておいで

ノヴァッ

ヒカルを
快楽漬けに
してやるんだ

…なにをっ!?



うーっ

何なんだ
それはっ

ノヴァアツ!!!

やめッ...

ああっ...!

アツ

グキョ

グキョ
グキョ

かつ...!?

カシ

カシ
カシ



うあああつあ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ツ
!!!!

あつああ!

ムッ...

フフ...

いつ...やあ...
...あ...ツ!

あつ...あ...

う...あ...あ





その
オモチャ...



気分はどお？
ヒカル...

その様子だと
ずいぶん気に入って
くれたみたいだね



うっう...

あーららー...
もの凄くがっちりと
根を下ろしてる

どうやら
オモチャの方も
ヒカルの穴を気に
入っちゃったみたい

フフ...

んうう...

こうなったらもう
自分じゃ剥がせ
ないだろうなあ

ズル...

ズル...

ズル...

おツ…
おねがい…だツ

こんなの…
はずして……ツ



あたっ…ま…が…
…ヘンになる……

どうせヒカルの
身体は
淫乱そのもの
なんだから

なつちやえぼ
いいじゃない

このオモチヤに
アソコの穴をたっぷり
汚してもらうんだよ

奥の方がうずいて
しょうがない状態を
ずーっと味わうんだ

そうすれば
思い知るよ

自分とはんでもない
変態女なんだって

そん…な…

フフ……
さあ……

それじゃ……わたし
いったん帰るね

この城には
嫌な奴がたくさん
いるし

う……う……

とりあえずは
ここで止めとく

っ……あ

あ……あ……

またしばらくしたら
遊びに来るね

ヒカルが
おかしくなるの

楽しみに
待ってる…



セレー—スっ!!!

レ...イツ

ウインダムっ!!!

レイアース!!!

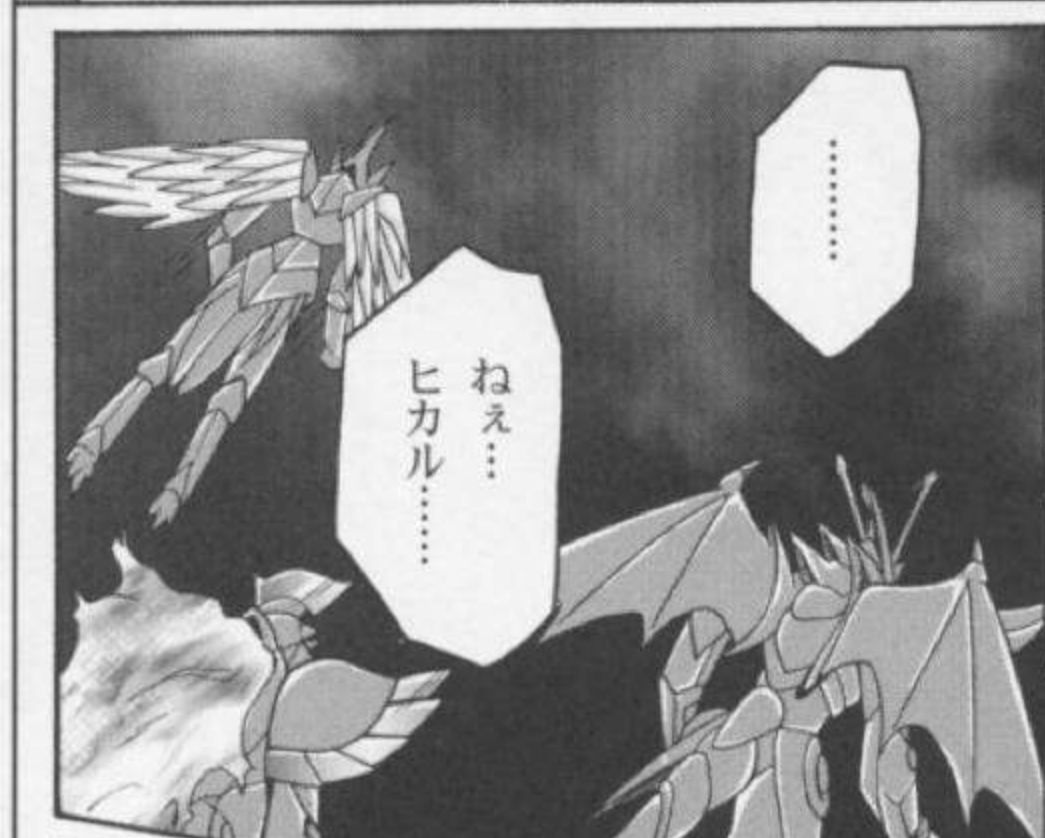
はあ...

はあ.....



chapter 2







ご、ごめんツ

ちよつと
ぼつとしてた
みたい

…大丈夫？

さつきから顔色
悪いんじゃない？

お身体すぐれない
ようでしたら
少し休まれた方が…



いつ!!!



んああつあー
—っ!!!



へ、平気だよ

何でも
ないんだ…

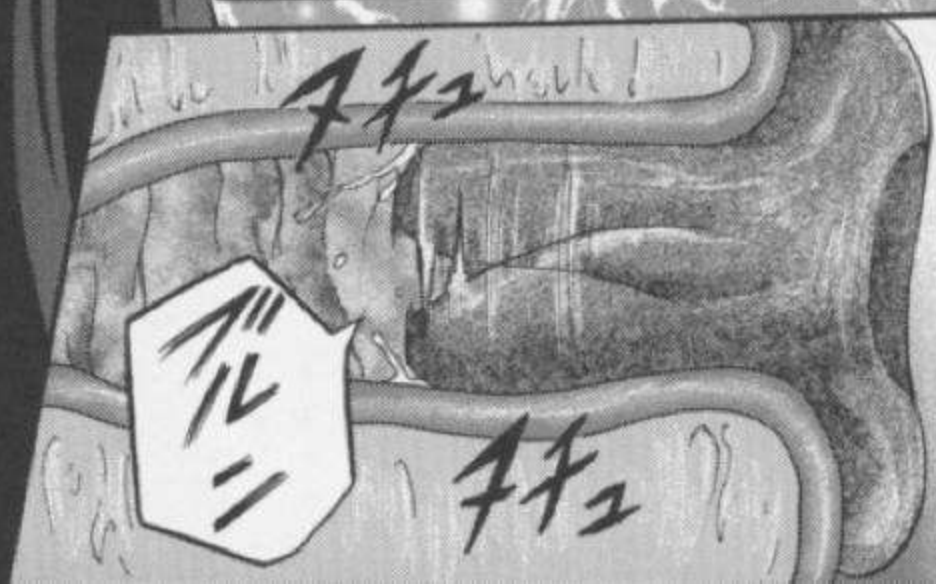
そう……
…なら良いんだけど

だめ…だツ

ご無理…
なさらないで
下さいね

もっとしっかり
しないと…

うん…
ありが…



ルニ

キユ



どうしたの
ヒカルっ!?

ごっ…
ごめ…ん…



ツツ



気に…しないで…
大丈夫だから…

海さん…



ヒカル…

お願いだから
無理して頑張らないで…



ちょっとそこに
降りましょ

いいわね?

う…ん…

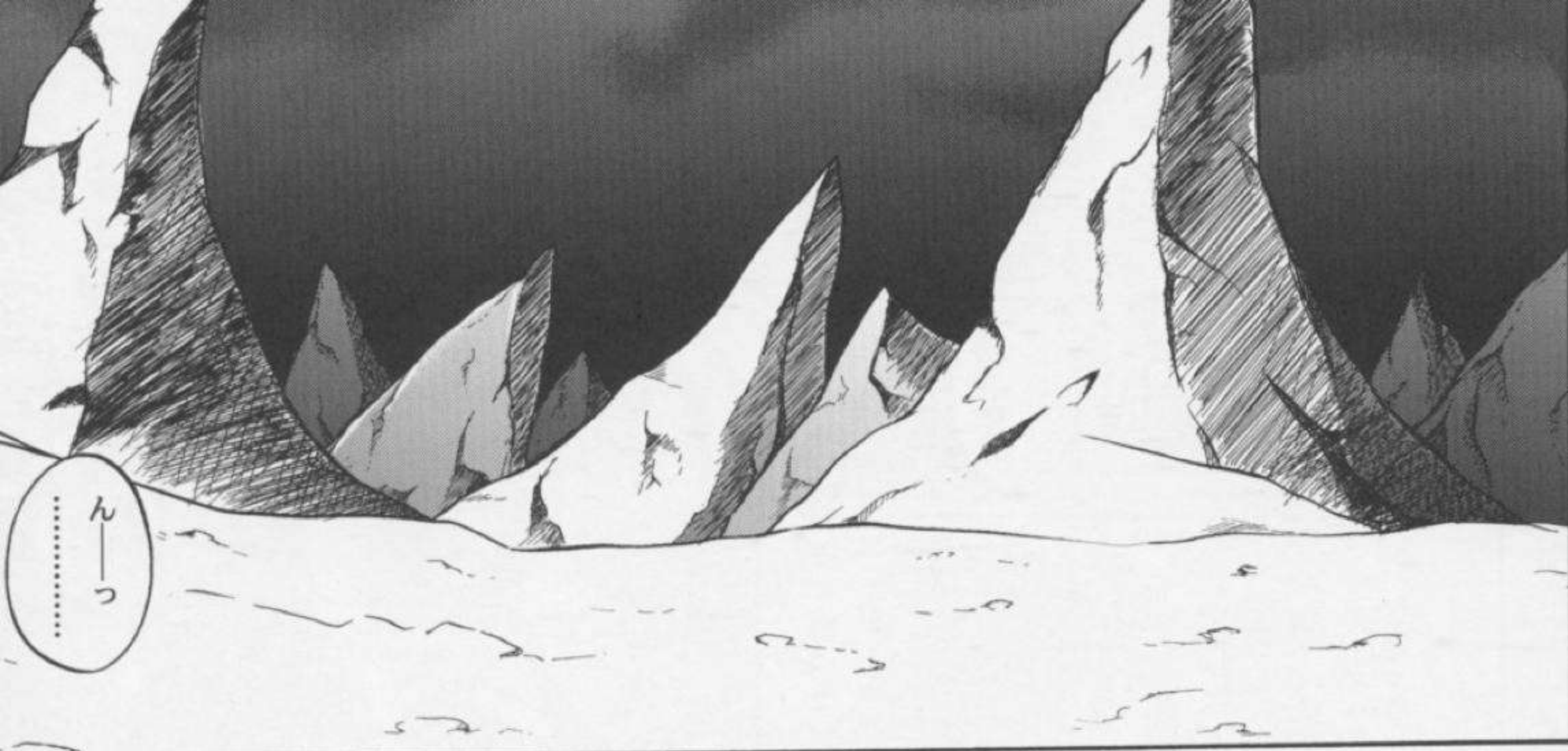


何…でも…
ない…ん…だ

動いてるツ…

まただ…ツ
また…中で…

ツツ



ん
っ
.....



熱は.....
ないようね



.....



でもお顔に
赤みが...
もしかしたら風邪か
何かの前触れかも
しれませんわ

そうね

身体も少し
震えてる
ようだし...

.....



.....じゃあ
こうしましょ

私は先に行ってるから
風はヒカルと一緒に
ここで少し休んでて…

もしヒカルの体調が
悪くなるばかりだったら
風は城にヒカルを…

分かり
ました

だめだよ

海ちゃん一人だけで
先に行くなんて
危険すぎる

でもヒカルさん…

体調が優れない状態で
戦われるのは
もっと危険です

わ、わたしは
一人でも大丈夫…

ちよつと休んだら
すぐに後を追うから
風ちゃんも海ちゃんと
一緒に行って！

ヒカルさん…

そう…
わかった

正直心配で
しかたないけど…



でもヒカルが自分で
休むって言うてくれた
だけでもホッとしたわ

いつも無理ばかり
なさいますからね...

じゃあ風...
とりあえず...
行こうか

ええ...
それじゃあヒカルさん
...:くれくれも
お気をつけて...

う、うん...



海ちゃんとも
風ちゃんも

気をつけて...





…また…後で
呼ぶから



レイアース…

………ごめん
なさい



チラ

………



その時を待て…

分かった…



しばらく一人に
させてほしい…

………



あ…う…う…



はあ…

はあ…



はあ…



こういう事
だったのかっ



ノヴァの
言っていた



奥がうずく
って...

うっ...あつ

クキユ



はあ...

はあ...

もう...
...だめっ

っ.....

さっ...

触りたいっ

クキユ

グクッ



キョッ

だめだっ
自分を
抑えられないっ

おおおお...



分かってる
けどっ!

こんなところ
汚いって
分かってる...



おおおお...

うあああ—
—
つ!!!

グキョッ



何…なんだ…
これ…

はっ…う

すっ…
すっ…
すっ…
すっ…

あつ…
んあつ!

気持ち…
…良いッ



はあ…

はあ…

ゆ…
指が…

私の中に…

どんどん
お…奥にッ
入ってくツツ

あああつつ—
—つつつ!!!

だ…だめっ

すっ…
すっ…
すっ…

くはあう!!!

ビクン

すっ…
すっ…

あつ!!!

きッ…気持ち
よすぎるッ

んう…あつ

止まらないッ

ひっ…
…っんあ!!!

指が
止まらないッ!

あつ…っん



あ…あ…





んあつあああー
つ!!!



あつ...



あつ...
あ...あ



んつ...

つ...あ...



はあ...

はあ...

はあ...



.....

うわああっつ♪

見いちやった!
見ーちやった!



見たよ
ヒカルう…

アソコに自分の指
突っ込んで

やっぱり
私の思った通り

ヒカルは
アレの疼きに
耐えられなかった



あーんな激しく
かき回しちやって

……っ

気持ち
良かった?

自分で触って

あっ……あ……



……これで
お母さまの言いつけ

半分クリアって
ところかな





お母さまの待つ
セフィーロの裏側に

グイッ

もっちろん…
…力づくでね

!?

だれが…

魔物ツ!?

くっ…

そんな所へ
行くもんかっ

わっつ…なに
…まさか戦うつもり？



立ってるのもやっとなくらいアソコ
火照らせてるくせに

やめときなよ…
全部仕組んだ上で
こうなってるんだから



ここは城の外…
誰も助けて
くれないし

いつも邪魔してくる
あの二人も
今日はいない

おまけにヒカルってば
オナニーするため
魔神まで異次元に
帰しちゃって…フフ…

えっ……



さあ…
セビル

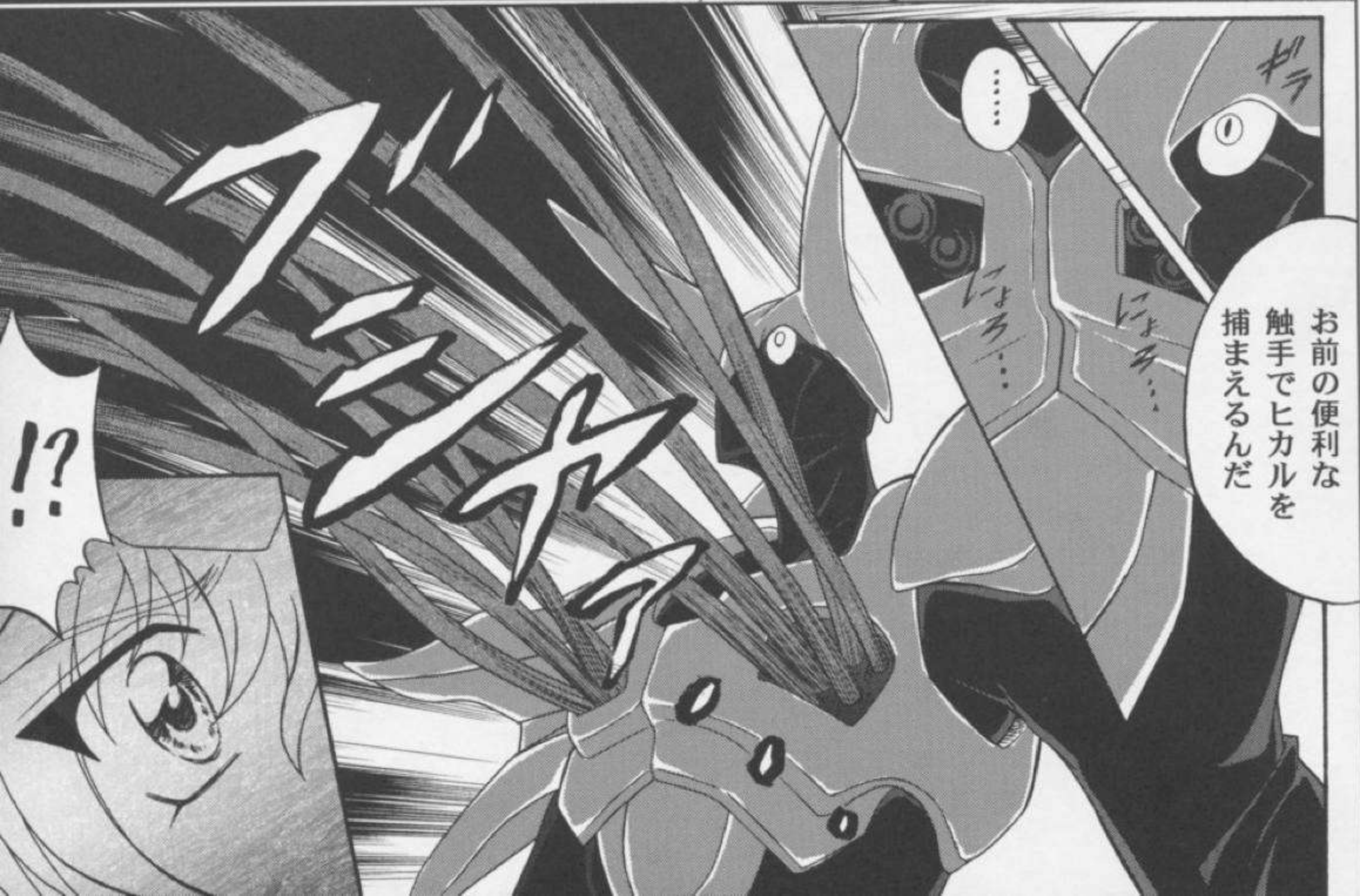
今が絶好の
チャンスだよ

お前の便利な
触手でヒカルを
捕まえるんだ

……

……

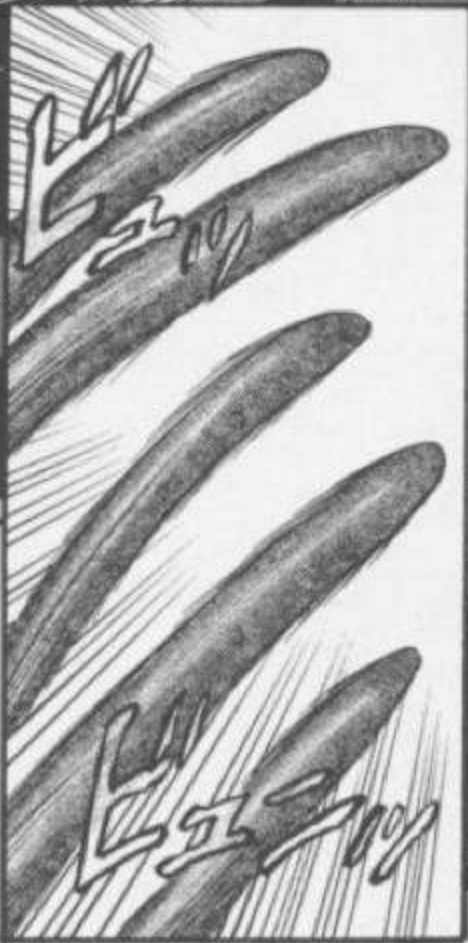
……



!?



くく...!!?



くく...

くく...



くく...

くく...
くく...

くく.....



あは

セビル
可愛そうに…



このおおおー

ツツ!!!

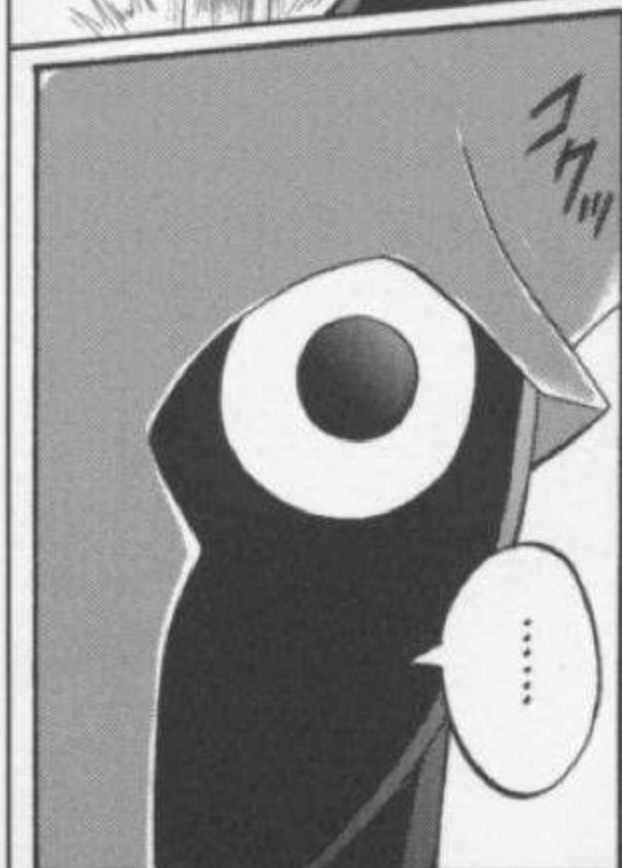


でも…

こーんなコト
されても戦って
られるかなあ？



ヒカルってば
意外と頑張るね









ヒカルが
次に目を
開けるのは

んっ……う

誰にも声が届かない
場所に着いたとき……

ん……



んっ……

安心して……

それは眠くなる
だけの無害なガス



そこで
た——っぷり

ガッ

可愛がって
あげるからね

可愛い
ノヴァ...

とても良い具合に
仕上がった
じゃないか

でしょっ!?

ヒカルのために
一生懸命
考えたんだ

どういうカッコ
させるのが
一番いいかって

ねえねえ
お母さま

こんな感じで
どう?

.....
フフ

chapter 3

安心おし...





そうだよねっ

絶対喜んで
くれるに
違いないよね

……ッ

お前の気持ちは
必ず伝わる

……ん……



.....は.....



ヒカル
起きたみたい



あっ!

ここは
セフィーロの裏
お母さまの
お城だよ

お母さま
見て見てッ!



なん...で...
なんのために...
わたしを...

ここへ連れてきた
目的は...
...何なん...だ...



お前を
消すことに
おいてな

デボ...
...ネア...

正面から仕掛けた
ところで困難だと
悟ったからだ

...目的?

そんなものを
付けられては一人の
時間が欲しくなる
というもの

案の定
お前は城の外で
ありながら仲間を
自分から離し…

一人で
オナニーに夢中
だったんだよねえ

フフ…

ここセフィーロの裏に
さえ連れてきてしまえば
邪魔は一切入らない

あの導師もここで
何が起きているか
など察知できまい

早く…ここから
逃げないと…

見てお母さま
…ヒカルってば
あがいてる

フフ…
愚かな…

いけないッ…
このままじゃ…

んんっ!

…つく!

くっ…



んっ！……
…っ！

っ……

剣で
これをっ……

んっ……

剣……
だっ

くっ……

な……

なんで……
…剣が出てこない……

!!?

剣？
ヒカルの剣なら
私が持つてるよ

でもまあ
これ……

ヒカルが気を
失ってる間に
縮んじやったけどね

セビルに持たせたら
炎が湧いてきたから
私がずっと預かってたの

……えっ！？

どっ…
どういう事なんだッ！
…何で剣がッ…！

だってさあ

ヒカル…
自分に負けて
一人でアソコの穴
いじってたじゃない

汚れた身体に 映染に屈したお前の
汚れた心…
身体は面白いほど
意志の力が
弱まっていった

剣の退化は
その表れ…

っ…
!!!?

もはや今のお前に
魔法騎士の力は
宿っていない

フフ…こういう時は
不便なもんだよねえ
意思が全てって理も

これでもうヒカル
ただの女の子に
戻っちゃった

そん…な…
……

魔法騎士じゃ
なくなった気分は
どんな感じー？

う、うそだ！

そんなのうそだっ！
…うそに…うそに
決まってるッ！

愚かな
小娘が…

なまじ己の姿が
以前と変わらぬから
そのような迷いことを
吐けるのであるッ

お前の防具など
見てくれこそ
変化はないが…

その中身は
この通り…

!!!
!!!

かつての強度など
見る影もあるまい

それより
お母さま…

イグ…

わたし早く
ヒカルと遊びたい

この防具
みたいにつ…

ヒカルを
壊したいの！

大好きなヒカルが
すぐ目の前にいて…

しかもこーんな
恥ずかしいカッコ
してるんだよ

あつ…!!

このままじゃ私の
方が頭おかしく
なっちゃうよ

んっ！

フフ…
いいだろう

いくらこの娘が
魔法騎士では
なくなったとはいえ

いつ…や！

んあ…ツ！

まだまだ理性を
保っているようでは
完全に芽を摘んだとは
言いがたい…

これから私は
この娘を更に墮とすための
素材でも探してくる

お前はお前で
その間たつぷりと
調教しておやり

任せて
お母さま

何度もイかせまくって
私の奴隷にしてやるッ

フフ……
…可愛いノヴァ

次に見に来る時が
楽しみだ……

はあ…

はあ…

はあ…

さあ……



まずは何して
やろうかなーっ

時間は
たつぶり

邪魔も
入らない

やっとヒカル…
私だけのもの
になるんだね…

……
あきらめない

……えっ？

……デボネアが
言ってた…

理性があるうちは
芽を摘んだこと
にならないって

絶対に
耐えて…

絶対わたし…

もう魔法騎士じゃ
ないんだよ？

セフィーロ帰っても
何もできないくせに
なんでそんなコト
言うの？

なんでツ!?

海ちゃん
と風ちゃんの
ところへ帰るんだ…



それでも

絶対...
帰る...

ふーん...

分かった
もういい...



もう
やーめたッ!

んんっう!

ヒカルとはゆっくり
時間をかけて
エッチなこと楽しもうと
思ってたけど



この
オモチヤでねっ!

這い上がって
これないとこまで
墮としてやる...



んっ!!!

フフ...



んっ!!!

さっきも
似たような事
したけど

今回ののは
効き目...
全然違うからね



んっ!!!
んっ!!!



それは
と...つても
強力なお薬

一度吸ったらもう
二度と性欲が収まらなく
なっちゃうんだって



どう?
その黒いガスの味は...

んっ!!!



んっ!!!

ヒカルにはたっぷり
それ吸わせて
身体中 媚薬漬けに
してあげる

ちよつと嗅いだけで
身体がヘンになってくの
分かるでしょ?



絶対耐えるなんて
言つときながら
何これえ

んっ!!!

んっ...



呆気ないなあ



こんなに
垂らしちゃって...



...って
あららー

ん...う
ん...う



んうっ!!!

んっふ!

ヒカルの意思なんて
やっぱりその程度...

ね?

んっ...う!

んんっー

ッ!!!

んっ
んっ

もうっ…
ニヶ所ぐらいで
こんな感じ
ちやって
どうするの？

今からこれに
もう一つ
加わるってのに

んっ！

んっ…ん！

んんっ！

フフ…

あがい
たって
ムーダ！

んんああー!!!



そーら
お尻の穴も
かきまわしちやえー

んっ!

んっ!

んっ! ンっ! ンっ!

うわあっ
何これっ

んっ! ンっ!

!!!!

んんっ

アキユ

アキユ

アキユ



すこーい

ヒカルってば
お尻だけで
イツちやってる…

んっ! ……

よっほどココ
好きなんだね



どっちの穴も

それじゃあ

ちゅぽっ

もつと凄いこと
してあげる

これと...

ハッ

これを
使ってね!

んっっ!?

んっ!...
んっ—!!!



意味分かる?

穴の中を貫く
ような強い刺激...
...欲しいでしょ?

指とかオモチヤで
ちまちまいじくる
のとは次元が違う
気持ち良さ.....

まっ...ハッキリ
言っちゃうと...





なっ…

んっ!!!



これで
ヒカルの処女
奪っちゃおう
ってコト



フフ…

うそっ…
そんな

んんっ!

ん
っ!!!

濡れすぎてるから
するする
入っちゃおう…

どう?
ヒカル...

ぐちゅ
ぐちゅ

んっ...ふ

んっ!
んっ!
んっ!

...んっ!

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ

ん...ん...
...っん

自分の指も
良かったかも
しれないけど

んんうー
っ!!!

ぐちゅ
ぐちゅ

太くて大きいので
かき回されるのは
もつともーっ
気持ち良いでしょっ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ



それに
…何？

さつきからお尻の穴
までピクピク
させちゃって…

んっ！

一回挿れられただけで
こっちの味も
覚えちゃったの？



んっ…う

ほんっと…

ヒカルって
エッチな娘だね

穴が呼吸するたびに
お腹ん中の匂い
どんどん洩れてる…



あーもう…やだなー
ヒカルの肛門
すごい匂いだよっ

んっ…ぐ

下品な穴には
これでも
埋めこんじゃえ

びびびび

びびびび

んうっ——

!!!



ほーらほら

こうして
欲しい
んでしょ?

気持ちいい?
ヒカル

んっ……

そこからじゃ
見えてないだろうけど
…分かるよね?

ヒカルのマントが
どんどんお尻に
入っていつてるの

んっ!……んうっ!



んう——う!

フフ...

両穴ともこんな
ユルユルに
しちやって...

んっ!
う...んん!

ちゅ
ちゅ
グイッ



...っ...ん?



どうせヒカルなんか
こんな立派な
魔法騎士の防具
ぜーんぜん似合わない
んだし

んっ! んっ!
んっ——う!

せいぜい
こうやってパイプ
代わりに着けて
よがってなよ



なに...?
...その震え

もしかしてもう二回目
イツチャいそうなの?

グイッ
グイッ



……んう？

まだイかせて
あげないよー



だめだめ
絶対だーめっ！



なによりもヒカル
自身が認めて
くれなきゃ困るの

……いい？
ここから先は
私のペットに
なってるから



ただの淫乱な
女の子ですーって

もう自分は
魔法騎士じゃない……





もっと自分に
言い聞かせる
ように大きく！

心で固ーく
決意するの！



だめだよ
そんな
小さい声じゃ



ほらっ

これ
入れて欲しい
でしょ？

自分に正直に
なろうよお
ヒカル…



……わっ！

わたし…は…
……ッ



……っね？

私はもう
魔法騎士なんか
じゃないっ!!!

ただの…
淫乱な女だっ!!!

あつ…あぁ…

フフ…

ニヤ



魔法は
どお？

あの導師から
もらった力
捨てられる？

なにも
要らないっ！

魔法なんて
使えなくていい



だ...から...
お願い...だ...

はーい...

よく
できましたーっ

あっっあ

あっ...あ...



ご褒美だよ

グチャグチャに
なるまで
かきまぜてあげるね

クキユ

クキユ

あっ！

ああっ!!!

気持ち良い？
ヒカル

いいいつ!!!



きゅ……も……

気持ち良い

—— つつ!!!



んあつ…ああ



…つう…あ

あつ…あ…

いっ！

らやうっ！



肝心の心の方も
お母さまの言うとおおり
じらしまくったらさあ

身体は薬のせいで
火照りっぱなし
…もう完全に
メス豚ちゃんツ

形だけ留めてた
あの防具も
今じゃどンドン
崩れてきてるし…

あああ…っ

ヒカル自分で
「もう魔法騎士じゃない」
「淫乱な女だー」…だつてえ

んっ…あ…

だつめ…
だめええ…

ヒカルの心も
いよいよ
壊れちゃうとこ
寸前って感じかな

ビュッ

グッ
チュ

ホロ…

グッ
チュ

てはまだ…
あの者は理性を
残しているのか？

うん…
…まあ

一旦はホントに
堕ちて人形みたい
になってただけど



男のアレを挿れてやろうと
したら急に恥ずかしくて
少し我に返っちゃったの

…ヒカルも
女の子だよねえ

あつ！…
…あつ…あ！



そうか…
あの男たちの手配は
余計だったか…

ううんッ

そんなコトは
ないよお母さま





ヒカルの心は
私が相手してる時より
ずっとずっと
傷ついでる



精液を身体に
入れられちゃう
瞬間なんか特にそう

いつ...やあ...



フフ…
そうか

ならばたとえ
多少の理性が残ってい
ようが問題ないだろう



最後の仕上げを
おまえ自身の手で
やっておやり



…ノヴァー!

遊びの時間は
終わりを



そうだね



……うん



もう充分
楽しい時間を
すごした事だし

これで
私のわがままは
オシマイにする…



ヒカル…



……

……あ……



.....
ノ.....

スッ

ウッ.....

ハッ
ハッ
ハッ

.....
弱くなったね

ホントに.....今にも
消えちやいそうな
か細い光.....



影と光は
隣り合わせだけど

二つは決して
対等じゃない

はあ.....

はあ.....

人の心しだいで
膨らんだ方が表になり
一方が裏になるんだよ.....

グッ
グッ
グッ

ヒカル…

もう…自分を維持
することもできない
んでしょ？

…それならさっ

私と一つに
なろうよ…

ヒカルは私の中で
影として生きて

今日から
私が光に
なってあげる

私はそんなヒカルを
感じながら
強く生きるの…



あ……

あ……あ……

ねっ……
ヒカル……



……
そうだよ

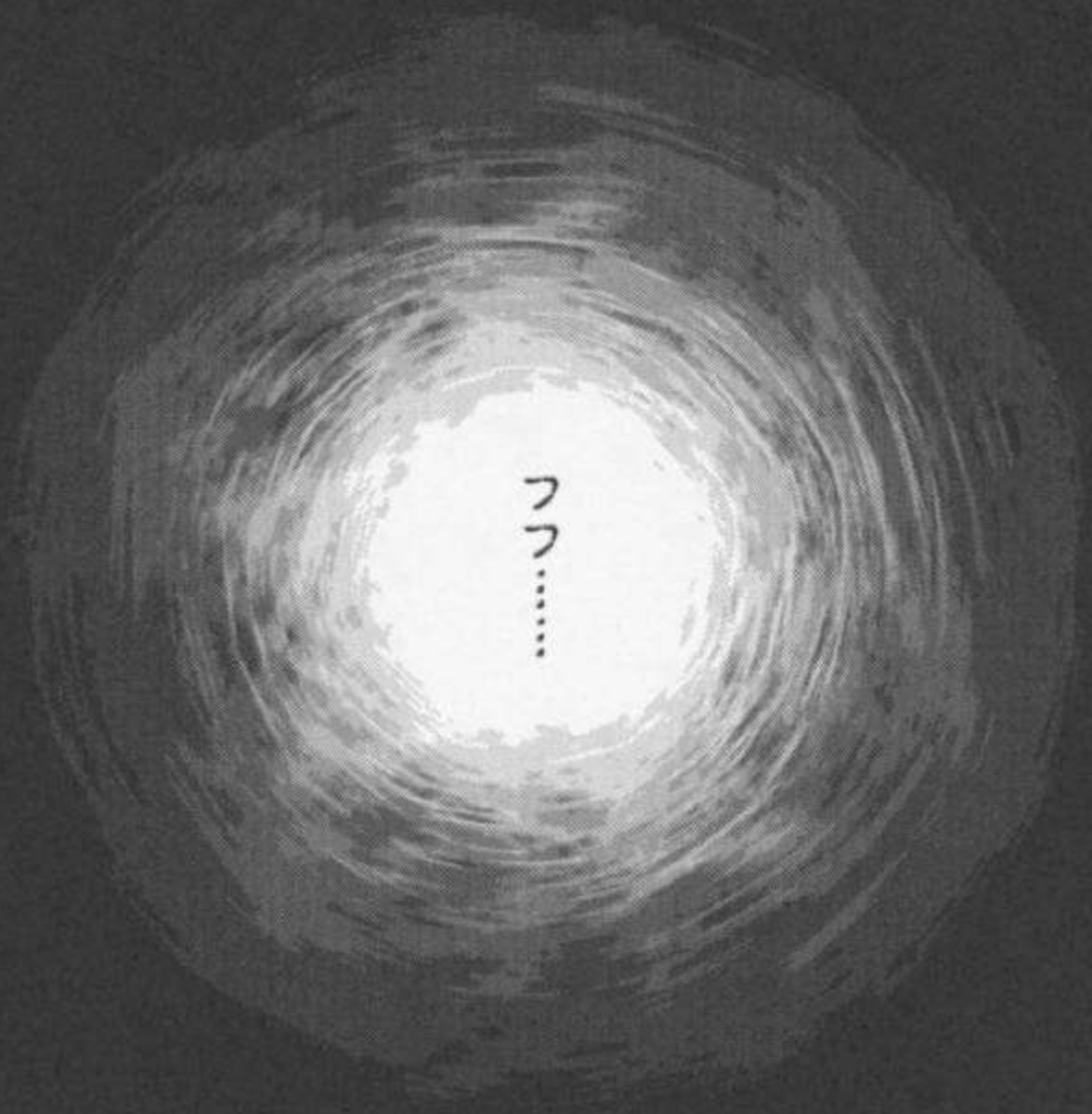
……おいで……

……
ヒカルツ



ニヤ
ウウウウ





フ
フ
.....
.

END

巷ではヒカルと名の付くキャラがたくさんいますけど、私の場合ヒカルといえばやっぱりレイアース。ってなわけで、昔から一度で良いからやってみたかったレイア本、何とか完成できました(^_^) それにしても…最終形態の防具ってすんごく細かいですよ…。この防具を着たヒカルが一番好きなので、「好きならいいじゃないか！細かくたって！」と言われるかなーと思うんですけども……いやはやそういう前置きを経たとしても中々回避できない細かさでした。あと、ラストが結構ダークなので、ちょっと今更になって心が痛んでます(-_-) ヒカルがああって感じて…。テキストで見てる段階だとフムフムという程度だったんですけど、いざ絵にしてみると結構残酷かもと。さてさて、それで次刊は……。まだ決まってません(^_^) ジャンヌかダイ大本を描きたいなと思っているんですけど、次のことはとりあえず冬コミを終えてから考えたいッス。

それでは、今回はこの辺で！
この度はサイクロンの本を読んで下さってありがとうございました。
また機会があればお会いいたしましょーッ(o^o^)/

和泉



こんにちは、またははじめまして。冷泉です。
ギリギリ冬コミに間に合ってたよかったです。って言っても秋に完成してる予定だったからなあ…。
遅筆サイテー。
毎回そうなんですけど、前半と後半の絵柄が変わってます。ごめんなさいー。
安定させたいんですが、まだ私の力量では無理なようです。
ちなみに今からダイ大のコピー本づくり。まだまだ大変だあー。

冷泉

あとがき

サイクロン Pシリーズ6

Centris - セントリス -

2002年12月30日 初版発行

発行：サイクロン

著者：冷泉 & 和泉

印刷：株式会社ポプルス様

連絡先：webmaster@cyclone.sakura.ne.jp

* 乱丁・落丁のお取替え申請やお問い合わせ等につきましては、上記のメールをご利用下さいませ

* また、感想などを頂けましたら幸いです<m()m>

【 注 意 】

この本を発行した事によって発生する全ての権利は放棄されておられませんので、
申し訳ありませんが UP板・転載サイト・紹介サイトなどへのスキャン画像
無断掲載や共有ファイルとしての利用行為はご遠慮下さいませ。

また、それらの行為を発見された場合は、お手数ですが上記連絡先までその旨
ご一報頂ければ幸いです。

悪質なケースは捜査機関に親告させて頂きます…。

(C) 2002 CYCLONE
 CYCLONE

<http://www.cyclone.sakura.ne.jp>

ノヴァに不気味な生物を取り付け
られてしまった光…。
たえず秘部を刺激され続けるうちに
光の身体は快感を覚えてしまい、
性欲であふれた心からは次第に
意志の力が弱まっていった……。

